

議会だより 第2号

第3回9月定例会



県土木部長に要望書を提出する廣瀬村長

『村長諸般の報告』

○金婚式、ダイヤモンド婚式の表彰

金婚式（結婚50年）
ダイヤモンド婚（結婚60年） 13組

○市房ダム湖周辺整備計画について
熊本県・熊本県企業局・球磨地域
振興局に要望

『定住促進宅地分譲（宮田）について』

公募により4区画のうち3区画が
決定

○公立多良木病院の医師招聘について

足による
医師不足
地域医療

地域医療
組織である
医科大学
の関連組
織である
地域医療
振興協会
に協議を
依頼した。



球磨郡公立多良木病院

『教育長諸般の報告』

○第29回人吉球磨童話発表大会について
湯山小学校4年郷悠稀（はるき）
さんが、昨年に続き最優秀賞に輝いた。



前列左が郷悠稀さん

平成25年第3回（9月）定例会が9月10日から13日までの4日間の会期で開催され、人事案件1件、条例1件、報告1件、専決処分事項の承認2件、25年度各会計補正予算3件、24年度各会計決算8件などが提案され、慎重に審議された結果、原案どおり可決・認定されました。

また、今年度決算で25,057千円の損失を計上した（株）みずかみについて、議長発議による「第三セクター調査特別委員会」が設置され、決算状況と今後の改善計画について調査することに決定しました。

一般質問には、3名の議員が登壇し、執行部への考え方を質しました。

第三セクター調査特別委員会を設置

○中英杯熊本大会（中学生英語スピーチ大会）について

水上中学校2年の那須優希（ゆうき）さんが、1年生から3年生を含む全体トップの最優秀賞に輝いた。

○中学生ジュニアオリンピック陸上県予選大会について

ジャベリックスローに出場した水上中3年の小原基広（もとひろ）君は、60メートル25を投げ見事優勝。10月25日から横浜市で行われるジュニアオリンピックの本戦に出場する。

○人事案件

○教育委員会委員の選任同意について
尾前和明氏（本野）を選任することに同意しました。

○条例

○水上村報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
今年3月に制定した政治倫理条例の10月1日からの施行に伴い、政治倫理審査会の委員の報酬について追加したものです。会長4,400円、委員4,100円、学識経験者1,200円（弁護士など）

○予算

○平成25年度水上村一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算の総額に9,410万円を追加し、総額を27億4,335万円とするものです。

歳出の主なものは、7月の梅雨前線豪雨による江代地区の村道片地横才線災害復旧工事7,100万円などを追加計上しました。

○平成25年度水上村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に426万円を追加し、総額を3億8,876万円とするものです。

○平成25年度水上村介護保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に212万円を追加し、総額を4億3,212万円とするものです。

○決算認定

○平成24年度水上村一般会計歳入歳出決算認定

財政健全化法に基づき監査委員の意見を付して報告があり、いずれも早期健全化基準を下回つており良好と認められました。

○陳情書

○「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情について
森林吸収源対策などの地球温暖化対策に取り組むための恒久的・安定的な財源確保を講ずることが急務となっていることから、陳情書を採択し、意見書が内閣総理大臣等へ提出されました。

○平成24年度水上村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定

○道州制導入反対に関する意見書について

「道州制への移行のための改革基本

○平成24年度水上村介護保険特別会計歳入歳出決算認定

○平成24年度水上村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

○平成24年度水上村林業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定

「法案」が衆議院内閣委員会において閉会中審査となっていることから、陳情書を採択し、意見書が内閣総理大臣等へ提出されました。

○議員派遣の件について

○陳情書採択の件について

いずれも審議の結果、原案どおり認定されました。

○報告

○平成24年度水上村財政健全化判断比率の報告について

財政健全化法に基づき監査委員の意見を付して報告があり、いずれも早期健全化基準を下回つており良好と認められました。

○陳情書

○「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情について
森林吸収源対策などの地球温暖化対策に取り組むための恒久的・安定的な財源確保を講ずることが急務となっていることから、陳情書を採択し、意見書が内閣総理大臣等へ提出されました。

○継続審査申出書について

第2回臨時会
7月16日開催

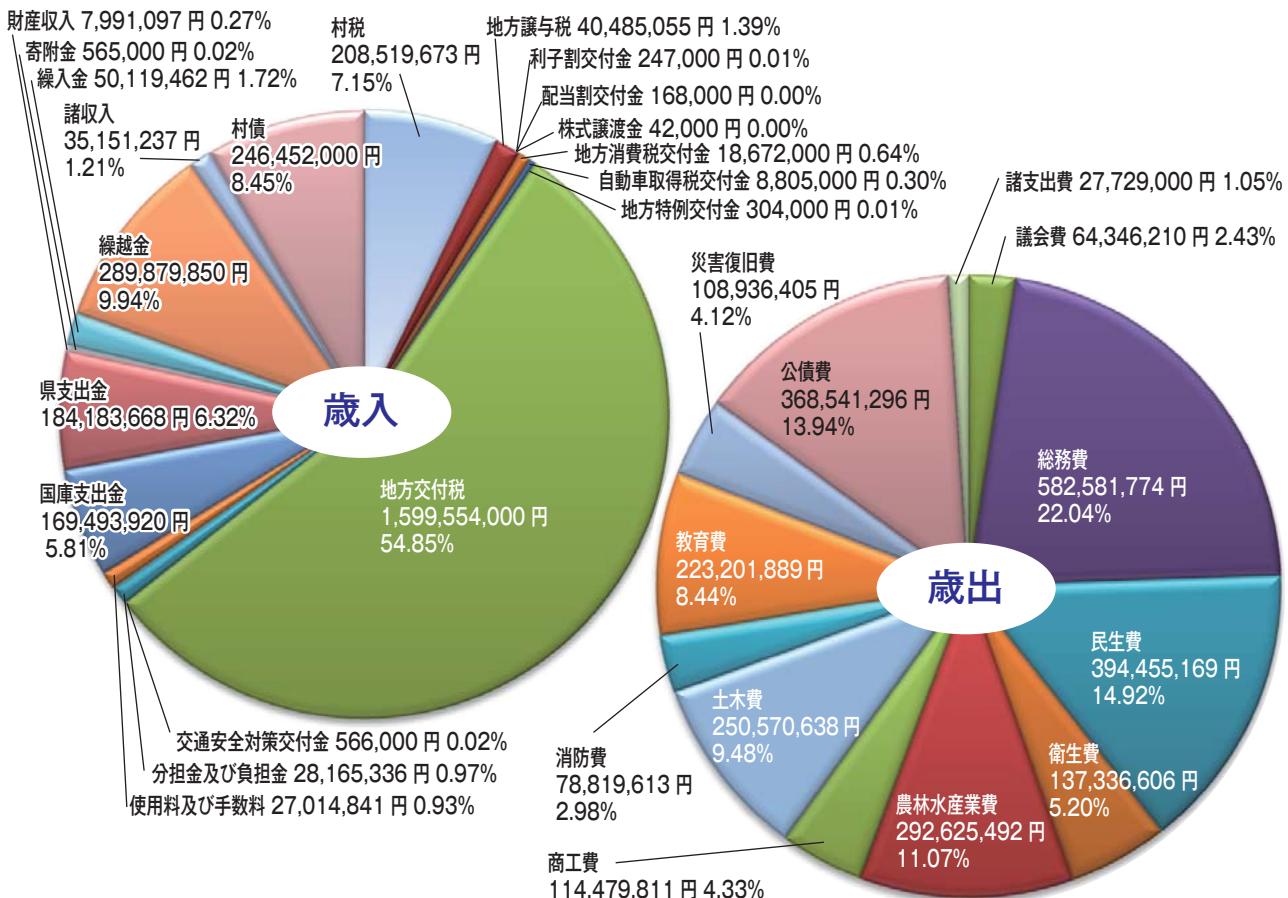
○平成25年度水上村一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に1,300万円を追加し、総額を26億4,900万円とするものです。
7月の梅雨前線豪雨による災害復旧に係る測量設計調査委託料を追加計上しました。

○その他

○継続審査申出書について

平成 24 年度 歳入歳出表 一般会計



平成 24 年度 水上村会計別決算総括表

(単位: 円)

| 会計別 | 区分 | 予算現額 | 決算額 | 予算現額に対する決算額比較増減額(緑越明許費を含む) | 予算現額に対する決算額の比較(%) |
|--------------|----------|---------------|---------------|----------------------------|-------------------|
| 一般会計 | 歳入 | 2,898,020,000 | 2,916,379,139 | 18,359,139 | 100.63% |
| | 歳出 | 2,898,020,000 | 2,643,623,903 | △ 254,396,097 | 91.22% |
| | 歳入歳出差引減額 | | 272,755,236 | | |
| 国民健康保険特別会計 | 歳入 | 392,666,000 | 399,221,670 | 6,555,670 | 101.67% |
| | 歳出 | 392,666,000 | 337,710,145 | △ 54,955,855 | 86.00% |
| | 歳入歳出差引減額 | | 61,511,525 | | |
| 簡易水道事業特別会計 | 歳入 | 44,924,000 | 45,097,521 | 173,521 | 100.39% |
| | 歳出 | 44,924,000 | 40,516,579 | △ 4,407,421 | 90.19% |
| | 歳入歳出差引減額 | | 4,580,942 | | |
| 農業集落排水事業特別会計 | 歳入 | 52,430,000 | 52,610,315 | 180,315 | 100.34% |
| | 歳出 | 52,430,000 | 50,881,384 | △ 1,548,616 | 97.05% |
| | 歳入歳出差引減額 | | 1,728,931 | | |
| 下水道事業特別会計 | 歳入 | 52,970,000 | 52,612,995 | △ 357,005 | 99.33% |
| | 歳出 | 52,970,000 | 48,356,160 | △ 4,613,840 | 91.29% |
| | 歳入歳出差引減額 | | 4,256,835 | | |
| 介護保険特別会計 | 歳入 | 326,745,000 | 324,597,741 | △ 2,147,259 | 99.34% |
| | 歳出 | 326,745,000 | 311,382,645 | △ 15,362,355 | 95.30% |
| | 歳入歳出差引減額 | | 13,215,096 | | |
| 林業集落排水事業特別会計 | 歳入 | 9,100,000 | 9,105,390 | 5,390 | 100.06% |
| | 歳出 | 9,100,000 | 8,628,490 | △ 471,510 | 94.82% |
| | 歳入歳出差引減額 | | 476,900 | | |
| 後期高齢者医療特別会計 | 歳入 | 28,427,000 | 28,527,649 | 100,649 | 100.35% |
| | 歳出 | 28,427,000 | 27,879,703 | △ 547,297 | 98.07% |
| | 歳入歳出差引減額 | | 647,946 | | |
| 総合計 | 歳入 | 3,805,282,000 | 3,828,152,420 | 22,870,420 | 100.60% |
| | 歳出 | 3,805,282,000 | 3,468,979,009 | △ 336,302,991 | 91.16% |
| | 歳入歳出差引減額 | | 359,173,411 | | |

一般質問



那須 正弘 議員

第三セクターについて

問 第三セクター「株式会社みずかみ」は、過去10年ぐらい赤字経営となっているが、平成24年度の決算状況及び赤字総額は、また、原因、要因は、資本金5,000万円が枯渇したのは事実か。

答 廣瀬村長 今期が第11期となり、平成24年度の収支は2,400万円を超える赤字となっている。全体の売り上げは昨年度より伸びているが、個々の施設は伸びていない。キャンプ場においては、ログハウス利用は多いが、テントサイト、バンガローについては回転率が悪い。しかし、一番利用率が高いのがキャンプ場である。山の幸館においては、慢性的に客が少なく、売り上げも減くなっている。外販においては、現社長のもと昨年度より53日増をこなし、売り上げも伴って伸びている。

村長交際費について

問 前村長の交際費は年間60万円の予算を維持されていたが、廣瀬村長はこの2年間で40万円を増額された。その理由として、各種会合出席時の御樽等を補うための増額であると答弁されたが間違いないか。



元湯

答 後半に就任し、実質1年の運営。赤字については、本人はもとより私達取締役も大変申し訳なく思っている。社長には10%の報酬カット、改善計画は検討中で、思い切った改善策をお願いしている。

答 岩崎経済課長 現況は生産者の高齢化、病害虫防除の不徹底、鳥獣類被害の増加、単価低迷等により生産意欲が減退、これらが耕作放棄地の増加

耕作放棄地について

問 本村の栗園は、過去、耕作者200名、面積は230ヘクタールで、1億円以上の売り上げがあった。現在では高齢化、後継者不足等から、放棄地が大変目立つ状況であるが、現況及び今後の課題、指導方法についての考えは。



栗園の耕作放棄地



米良 哲 議員

答 廣瀬村長 御樽の回数が多かつたことから、そういう答弁があつたが、総額に占める御樽代は5%足らずで、数字的に説得力がなく誤解を招く結果となりお詫びする。

問 祭への御樽支出と公務出張は、政教分離による禁止事項に違反するのでは。

答 個人で建立されている神社祈願祭への御樽支出と公務出張は、

○議会での村長等答弁について

答 廣瀬村長 地方自治体から神社仏閣等への寄付等が禁じられていることは承知している。社会通念上許される範囲と判断し、地域おこしの模索中で、各町村に案内があり公務として出席した。

答 廣瀬村長 地方自治体から神社仏閣等への寄付等が禁じられていることは承知している。社会通念上許される範囲と判断し、地域おこしの模索中で、各町村に案内があり公務として出席した。

地域公共交通について

中嶽総務課長 以前、住民に対しアンケート調査を行い、地域公共交通対策協議会を設置し協議を重ねている。熊本県とも協議した結果、もう少し地域住民の意向を聞き取るべきとの指導から、区長会等で意見を集約し、人吉球磨公共交通協議会との関連も含め検討を加えていきたい。

小学校プールの使用について

高齢化社会が進む中、交通手段は今後とも大きな問題と考える。昨年本村でも地域公共交通対策協議会が設置されており、住民の安心した生活、福祉向上のために、早急な解決に向けた協議をお願いする。今後の対策、手段は。



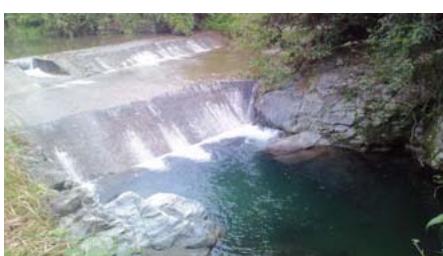
立尾 一喜 議員

夏休み期間における小学校プールの土、日曜日閉鎖の経緯と今後の方針は。

井上教育長 4月のPTA総会時に話し合われ、保護者の方から土、日曜日は避けたいとの意見から平日のみの解放となつた（現在は監視員2名・夏休み期間1回の当番）。いつから平日のみになつたかは把握していないが、保護者の減少が大きいと考えられ、プールの維持管理（カギの受け渡し、機械の操作、塩素濃度測定、日誌の記入、AEDの準備）についても検討していくかねばならない。

中学生の川水浴禁止の経緯は。

井上教育長 川での遊泳は禁止するが、保護者同伴であれば泳いでもかまわないと、中学校PTA総会の折に決定したと校長から聞いています。



編集後記

暑かつた夏が終わり、朝夕が冷え込み始め、ようやく秋らしくなつてまいりました。

先日、白水阿蘇神社秋季大祭があり、子供からお年寄りまで楽しんでおられ、境内には、笑い声や鬼を怖がる子供の泣き声が響いていました。

また、水上中学校の生徒が神楽の練習をしています。11月17日の文化祭で発表しますのでぜひご覧ください。

米本 宗徳

広報特別委員会

委員長

小野 順年

副委員長

米本 宗徳

委員

荒嶽 哲晋

米良 哲晋

その他の質問

○今後の集客活動について
○終活について

問 民生委員について

問 民生委員の平成24年度の活動状況、経費、報酬等は。

答 那須住民福祉課長 現在民生委員は大字ごとに3名、主任児童委員2名、合計11名。活動内容は定例会が毎月。6月、9月、12月、2月、3月には80歳と90歳の敬老祝金の配布、12月には一人暮らしの世帯に歳末見舞品の配布、そのほか各種行事への出席参加をしてい。相談支援、訪問、連絡調整回数を合わせると、延べ年間1,571日で一人当たり

問 民生委員について

要望 1回当たり微々たるもの。一人平均で単純計算ではあり、大変なご苦労、活躍されているということを村民が認識していただきたい。東日本大震災時には、56人の民生委員が住民の家を駆け回つては、尊い命を落とされた。安全対策、補償の見直しなどが必要であり、国への要望等をお願いしたい。

問 中学生の川水浴禁止の経緯は。

答 井上教育長 川での遊泳は禁止するが、保護者同伴であれば泳いでもかまわないと、中学校PTA総会の折に決定したと校長から聞いています。

問 民生委員について

答 那須住民福祉課長 現在民生委員は大字ごとに3名、主任児童委員2名、合計11名。活動内容は定例会が毎月。6月、9月、12月、2月、3月には80歳と90歳の敬老祝金の配布、12月には一人暮らしの世帯に歳末見舞品の配布、そのほか各種行事への出席参加をしてい。相談支援、訪問、連絡調整回数を合わせると、延べ年間1,571日で一人当たり